

# 令和5年度 加古川市 認知症地域支援推進員活動報告

## 加古川市の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：6名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - 担当地域内の認知症の人やその家族を支える取組みを進める。
  - 認知症早期発見・早期受診、早期ケア体制を実現するため、センターやサロン等で早期発見チェックを実施し、疑いのある人にかかりつけ医や認知症相談員への受診を勧める。
  - 認知症の人や家族が安心して生活できる地域づくりのため、行政、認知症疾患医療センター、医療機関、介護事業所等の関係機関と連携を図る。

報告者氏名： 高齢者・地域福祉課 松尾 優  
地域包括支援センター ひらおか 木幡 隆志

# 【加古川市】認知症施策全体図

項目	内容
早期発見、早期受診、早期ケア体制の充実	認知症早期発見チェックの実施
	認知症初期集中支援チームの設置
認知症地域連携体制の強化	認知症地域支援推進員の配置、連絡会の開催 加古川認知症連携協議会への参加 東播認知症教室の支援 認知症疾患医療センターとの連携
地域の人や家族を支える地域づくり	認知症サポーターの養成支援 認知症キャラバン・メイトの活動支援（連絡会・養成研修）
	認知症の人や家族、サポーターの会などへの支援 認知症カフェへの支援
	認知症なんでも相談会の開催
認知症見守りネットワークの充実	認知症見守りSOSネットワークの実施 見守りカメラの利用促進
若年性認知症施策の整備	若年性認知症の人や家族、サポーターの会などへの支援
認知症に対する正しい知識や理解の普及啓発	認知症イベント（講演会・映画会等）の開催



# 標題 地域共生社会・認知症バリアフリー実現に向けた取り組み

## ②認知症サポーター養成講座 ステップアップ研修

### 〈チームオレンジへの取り組み〉

- ・推進員として、ステップアップ研修内容の充実を検討していく。
- ・チームオレンジを認知症サポーターの活躍する場とし進める。
- ・チームオレンジが発足し、メンバーが認知症カフェの開催や地域住民の相談役、専門職へのつなぎ、また個別地域ケア会議のメンバーとして参加をしているが、認知症地域支援推進員として支援を図っていく。

### 〈研修内容の充実策〉

認知症基本法から『本人の声をきく』ことが定められており、本人の思いを大切にするため、ステップアップ研修内容のひとつとして取り組んでいく。

### 〈令和5年度の実施策〉

- ・ チームオレンジメンバー及び今後の設置予定メンバーに、認知症本人の思いを聞く内容を研修に取り入れた。

# 認知症サポーター育成ステップアップ研修 ～予防編～

〈令和5年度 ステップアップ研修内容〉

①講義 ②認知症当事者の話 ③認知症当事者を含め意見交換

〈講義のポイント〉

フレイル予防、淡路島のいきいき百歳体操の効果、認知症の進行予防として、人とのつながりを重視

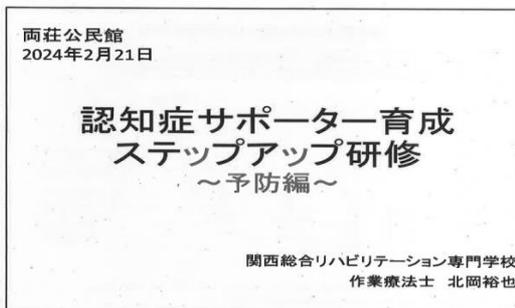
世話人が楽しむことが一番の効果！！

〈メンバーの感想〉

メンバーからどこまでできるのかわからないが  
できる事には取り組んでいきたい

〈成果〉

認知症当事者の声を直接聞く事で、認知症  
への理解が深まっていく



# 標題 地域共生社会・認知症バリアフリー実現に向けた取り組み

## ③認知症サポーター養成講座 小・中学校での開催

### 〈課題〉

- ・若い世代への啓発活動、周知が進んでいない
- ・総合相談から介護保険の申請など知識不足で相談に至るまでに時間がかかっている 介護の抱え込みから支援の急務が必要になって相談に至るケースが多い

### 〈背景〉

若い世代の意識向上

認知症基本法の取り組みの教育機関の学び

### 〈取り組み〉

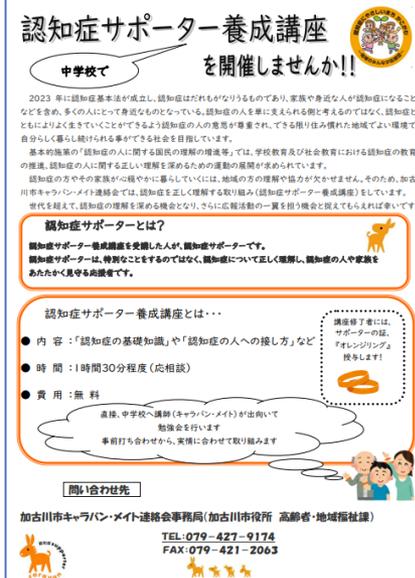
市役所担当課から教育委員会の校長会を通して開催を提案

認知症地域支援推進員が直接学校を訪問

市内同じ啓発ツールを活用

### 〈成果〉

小学校27校、中学校12校。定期開催校は小学校は1校、中学校は2校  
啓発活動から新たに2校が開催要請につながる(R6年5月現在)



認知症サポーター養成講座  
中学校で  
を開催しませんか!!

2023年に認知症基本法が成立し、認知症はだれもがなるものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを恐れ、多くの人が避けて身を守るものとなっている。認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症とともによりよく生きていくことができるよう認知症の人の意見を尊重され、できる限り住み慣れた地域でよい環境で自分らしく暮らし続けられる事ができる社会を目指しています。

基本的施策の「認知症の人に関する正しい理解を深めるための運動の推進等」では、学校教育及び社会教育における認知症の教育の推進、認知症の人に関する正しい理解を深めるための運動の展開が求められています。

認知症の方やその家族が心穏やかに暮らすには、地域の方の理解や協力が欠かせません。そのため、加古川市キャリア・メント連携会では、認知症を正しく理解する取り組み「認知症サポーター養成講座」をしています。

世代を超えて、認知症の理解を深める機会となり、さらに広報活動の一翼を担う機会と捉えども実施しています。

**認知症サポーターとは?**  
認知症サポーター養成講座を受講した人が、認知症サポーターです。  
認知症サポーターは、特別なことをするのではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を  
あたたかく見守る応援者です。

**認知症サポーター養成講座とは...**

- 内容：「認知症の基礎知識」や「認知症の人への接し方」など
- 時間：1時間30分程度(応相談)
- 費用：無料

講座終了時には、サポーターの証、「オレンジリング」授与します!

連絡、中学校へ講師(キャリア・メント)が出席して  
勉強会を行います。  
事前打ち合わせから、実際に合わせて取り組みます

問い合わせ先  
加古川市キャリア・メント連携会事務局(加古川市役所 高齢者・地域福祉課)  
TEL:079-427-9174  
FAX:079-421-2063

# 認知症地域支援推進員活動の今後の課題

## 地域共生社会・認知症バリアフリー実現に向けた取り組み

### ○東播認知症教室の拡充

⇒YouTube内容の見直しをする中で幅広い世代への周知

### ○チームオレンジ開催会場の充実

⇒自由な発想で、サロンやカフェをチームオレンジとして設置していく

### ○幅広い対象への認知症サポーター養成講座

⇒講師役としてのキャラバン・メイトのスキルアップ



## 最後に・・・認知症地域支援推進員として

- 現場で汗をかき、認知症当事者だけでなく、家族をも支えていくことで前を向いて進んでいけると考えています。認知症カフェを開催していく中で、世話人や参加者が楽しく過ごす時間作りに尽力しました。結果、自然と世話人が認知症カフェ以外での交流を持つことができ、人とのつながりの楽しさを身をもって感じることができました。
- 認知症者支援の在り方を模索し、地域で住み続けられるための使命を自覚することから始まると考えています。だからこそ、同じ空間を過ごす中で、見えてくる方向性を一緒に感じた時に社会が変わる瞬間になることを信じ、今できることを全力で取り組んでいきたいです
- 加古川市のスローガンの作成に携わった一員として、サブタイトルのように応援団を拡充できるように、さまざまな機関との連携を図っていきたいと思います